

vol.93

2016年9月号

公益財団法人国際障害者年記念 ナイスハート基金

〒105-0022 東京都港区海岸 1-4-26 ゆうらいふセンター

電話：03-3434-2170 FAX：03-5401-0681

URL:<http://www.niceheart.or.jp/>



# な い す は あ と



ユニバーサルスポーツワークショップ集合写真

表紙／写真 ユニバーサルスポーツワークショップ	1
報告／ユニバーサルスポーツワークショップ	
丸山内 雄大さん（公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会）	2
ふれあいのスポーツ広場下半期開催日程	5
告知／ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in ふくしま	6
特定寄付金「ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in ふくしま」募集	7
ウィンターキャンプ告知／賛助会員お礼	8



誰もが楽しくスポーツできるプログラムを

## ユニバーサルスポーツワークショップ

主催：日本福祉大学 藤田 紀昭 教授

仙台大学障害者スポーツサポート研究部 Co-Act.

(公財) 国際障害者年記念ナイスハート基金

共催：公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

平成28年8月31日～9月2日 / 福島県伊達郡桑折町民体育館他

### 「ユニバーサルスポーツワークショップに参加して」



公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

夢支援員 丸山内 雄大

8月31日から9月2日にかけて福島県の北部に位置する桑折町を主な活動場所として今回のユニバーサルスポーツワークショップは始まりました。今回のワークショップは、私が勤務する公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会が共催という形で関わらせていただき、担当職員として私が3日間帯同させていただきました。個人的には、学生の時代から参加者として関わらせていただき、今年で4回目の参加となりました。

今年は、仙台大学の学生と日本福祉大学の学生を対象に行われ、仙台大学は4回目、日本福祉大学が2回目の参加となりました。仙台大学に関しても大学としての参加は4回目ですが、初参加の学生が多く、全体的に見て

も参加したことがある学生が4名しかいない状況でしたが、私としては初めての参加者が多いことはとても良いことだと感じました。その理由としては、参加したことがあるメンバーばかりでは、以前作った競技が頭の中に残っており、新しい競技や斬新な競技をイメージしにくくなっています。しかし、そこに初参加であまり固まったイメージ像が無く、まささらな状態でイメージできるメンバーがいると斬新で指導者も考えないような競技が生まれる可能性があります。そのようなことから私は今回のワークショップを今までで一番楽しみにしていました。

一日目の講義を終え、実際の競技を考える二日目を迎え、学生たちは各班ごとに与えら



新規プログラム考案中

れた課題に向かって話し合いを重ねていました。一日目に行ったマシュマロチャレンジで学んだ、「座って話し合いをする時間を増やすのではなく、実際の道具を使ってやってみる時間を増やす」を実践している班が多く、3時間という短時間で各班いずれも競技案を完成させ、発表を行いました。その発表の中でとても斬新で面白い競技がありました。その班はボールを使用した競技担当で、ボールを手で押すのではなく、黄色い大きなボールを5人で囲んで体で押しながら進み、リレーをするというものでした。私の中では、ボールは手で押す、弾く、叩く、投げる、掴む、足で蹴る、止めるといったイメージしか無く、ユニバーサルスポーツに新たな可能性を見た気がしました。

その後、各班の競技案に修正を加え、競技を完成させ、リハーサルを行い、ついに最終日を迎えました。今回は大笹生養護学校中等部の生徒の皆さんにユニバーサルスポーツを体験していただきました。本番前にリハーサルを行いましたが、学生たちは良い緊張感を保ち、本番前には仙台大学4年の神君の掛け



新規プログラム「ボールはこび」

声で一体感が生まれ、ベストの状態で大番に入りました。

いよいよ本番が始まり、大事なのはどのように参加者の皆さんの反応を引き出すか、全ては総合司会の兩名に懸かっていました。司会の元気な挨拶が響き渡り、中等部の生徒の皆さんからも元気な挨拶が返ってくる。その瞬間に「大丈夫だ」と確信しました。競技司会も元気よくはきはきと説明・進行し、最初様子をうかがっていた生徒も笑顔で競技を楽しんでいました。全競技が終わった後には、サプライズで中等部の先生と生徒の皆さんからダンスのプレゼントまでいただき、ユニバーサルスポーツワークショップは無事大成功に終わりました。全日程を終えた学生たちは、



新規プログラム「わになっておどろう！」

とても晴れやかな顔をしており、今学生たちは満ち足りた達成感を味わっているのだと感じました。

今回のワークショップを通して、学生たちはとても成長したと思います。話したことの無い者同士が、3日間という短い時間でユニバーサルスポーツを考え、それを会ったことのない人たちに体験してもらう。そのような貴重な体験ができる学生がこの世界に何人いるのでしょうか。恐らくそう多くはないはずです。この経験は、社会人となって社会で働いていくときにどんな職種だろうと必ず生きてくると確信を持っております。このユニバーサルスポーツワークショップが今後も継続して行われ、このような経験ができる学生が一人でも増えることを願っております。

# プログラム

## 1日目



## 2日目



## 3日目



## 1日目

- 13:30 オープニング (アイスブレイク)
- ・自己紹介ビンゴ / マシュマロチャレンジ
- 15:00 session A 活動紹介
- ・日本福祉大学
- ・仙台大学障害者スポーツサポート研究部 Co-Act.
- 15:45 session B ユニバーサルスポーツについて
- 「藤田 紀昭 (日本福祉大学教授)」
- 16:15 session C グループワーク
- ・ラジオ体操 & プログラム作りのイントロ
- 17:15 終了

## 2日目

- 9:00 session D グループワークの続き
- ・3グループに分かれてのプログラム作り
- グループ A パラシュートを使用したプログラム
- グループ B 風船を使用したプログラム
- グループ C 何も道具を使用しないプログラム
- 13:10 session E グループ発表
- ・3グループの発表と良かった点・改善点の意見交換
- ・プログラムの修正
- 14:30 session F 全体のまとめ
- ・リハーサル及び全体の振り返り
- 16:30 終了

## 3日目

- 8:45 交流会準備開始
- 10:00 スポーツ競技の体験と交流会スタート
- ※福島県立大笹生養護学校中学部 40名+教職員の方々
- ・はじまりのあいさつ
- ・ラジオ体操
- ・新規プログラム「ともだちさがしゲーム」
- ・新規プログラム「ボールはこび」
- ・写真撮影
- ・新規プログラム「わになっておどろう！」
- ・ワクワクダンス
- ・お礼のダンス / お礼の言葉
- ・生徒さんの感想
- 11:40 閉会



## ふれあいのスポーツ広場 下半期開催日程

平成 28 年度のふれあいのスポーツ広場について下半期の開催日程をご案内致します。北海道苫小牧市を皮切りに 19 会場での開催を予定しています。

No.	開催地	日程	会場
1	北海道（苫小牧）	9月5日（月）	苫小牧市総合体育館
2	和歌山（和歌山）	9月21日（水）	和歌山ビッグウエーブ
3	滋賀（竜王）	9月25日（日）	竜王町ドラゴンスポーツセンター
4	秋田（秋田）	10月4日（火）	秋田市立体育館
5	熊本（菊池）	10月22日（土）	菊池市総合体育館
6	青森（青森）	10月24日（月）	新青森県総合運動公園マエダアリーナ
7	千葉（千葉）	10月24日（月）	千葉公園スポーツ施設体育館
8	佐賀（佐賀）	10月26日（水）	佐賀市立諸富文化体育館
9	神奈川（平塚）	10月30日（日）	ひらつかサン・ライフアリーナ
10	埼玉（和光）	11月5日（土）	和光市総合体育館
11	島根（松江）	11月7日（月）	松江市総合体育館
12	鳥取（米子）	11月8日（火）	鳥取県立米子産業体育館
13	東京（日野）	11月12日（土）	日野市南平体育館
14	三重（いなべ）	11月12日（土）	員弁運動公園体育館
15	新潟（新潟）	11月15日（火）	新潟市西川総合体育館
16	大分（中津）	11月16日（水）	ダイハツ九州アリーナ
17	静岡（裾野）	11月19日（土）	裾野市民体育館
18	愛知（東海）	11月20日（日）	愛知製鋼企業年金基金体育館
19	大阪（大阪）	11月24日（木）	大阪府立体育会館



♪告知♪

## ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ

ファシリテーター **庄崎隆志さん** office 風の器主宰・俳優・演出家

**メイミさん** 漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長

ノンバーバルコミュニケーションワークショップとは・・・

忙しい時間を忘れ、じっくりと相手と向き合うための空間です。言葉を使わずになかなか伝わらないもどかしさを感じます。そこから、自分らしい伝え方、伝えられ方を学び合う場です。



庄崎 隆志 Takashi Shozaki

office 風の器主宰・俳優・演出家。

19歳で裏方のアルバイトのつもりで入ったプロフェッショナル劇団「デフ・パペットシアター・ひとみ」で思いがけず役を貰い、俳優に。演出・脚本も手がける。国内で2000回以上、また海外13カ国で公演の経験を持つ。2005年の退団後は公演プロデュース、また実践女子短大をはじめ様々な教育の場や国立特別支援教育総合研究所等でワークショップの講師としても活躍。映画『ゆずり葉』（全日本ろうあ連盟製作）主演。著書に「障害者と福祉文化」（第8巻・明石書店）他。2010年「第59回横浜文化賞文化・芸術奨励賞」受賞。



メイミ Meimi

漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長。港区登録手話通訳者。

舞台や各種イベント、様々な場面で漫談家・司会者等の活動をする傍ら、都内のデイサービスセンターで介護福祉士として高齢者介護に携わる。特定非営利活動法人笑顔工場を設立し、現在は十数名の若手芸人の参加者を連れて、関東を中心に福祉施設でのお笑いライブを展開。様々なボランティア活動にも積極的に取り組んでいる。これからの長寿社会に向け、「笑って長生き」という考えを広める為の活動を展開している。アイデアヒューマンサポートアカデミー/カウンセリングスキルベーシック/トップメンタルトレーニング修了。日本アロマセラピー統合医学協会認定心理アロマアドバイザー。クエスト 総合研究所認定/クエスト アートセラピーメンタルケア・アドバイザー

開催地	日程	時間	会場
in ふくしま	11月26日(土)	10:00～11:00	福島市立養護学校
		14:00～15:00	社会福祉法人あぶくま福祉会だての郷
in みやぎ	11月27日(日)	10:00～11:00	白石陽光園
		13:00～14:00	白石寿光園

主催

日産労連 NPO センター「ゆうらいふ21」  
(公財)国際障害者年記念ナイスハート基金

問い合わせ

(公財)国際障害者年記念ナイスハート基金

TEL 03-3434-2170 FAX 03-5401-0681

e-mail: info@niceheart.or.jp

## 特定寄付金のお願い

### ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in ふくしま

東日本大震災後の不安定な環境により、福島の子どもたちは外で活動する機会が減り、とりわけ障害のある子どもたちに対する支援は行き届かない状況が続いています。このような環境の中、障害児とその家族の精神的負担は大きいものだと考えられ、支援の必要性を強く感じています。

平成24年度より実施した、福島の障害のある子どもと家族のための「ふくしまっ子キャンプ」では、3年次にわたり多くのご家族とボランティアの参加を得て、好評のうちに実施することができました。昨年度は福島県内の障害のある子どもが通う特別支援学校へ出向き、ワークショップを行うことにより、地域の中で支えあうつながりを強くすることができないかという目的の元、3日間にわたり5校を訪問し、開催することができました。また、この活動に対して、昨年度には募金総額 277,320円（6団体/14個人）のご寄付をいただき、支えていただきました。

つきましては、昨年度同様、下記内容にて特定寄付金の募集を実施したくご提案いたします。なお、募金目論見書の交付等につきましては、当基金ニュースレター第93号（2016年9月号）への掲載及びホームページへの掲載にて周知いたします。

#### <募金目論見書>

1. 寄附募集額 800,000円（余剰金があれば場合は、次年度同プログラムで使わせて頂きます）
2. 募集期間 9月1日から11月30日
3. 募集対象 一般
4. 募集理由 福島県内の障害のある子どもが通う特別支援学校へ出向き、ワークショップを行うことにより、地域の中で支えあうつながりを強くすることを目的に実施。
5. 実施概要
  - (1) 主催 日産労連/(NPO)日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」/  
（公財）国際障害者年記念ナイスハート基金
  - (2) 後援 福島県教育委員会
  - (3) ファシリテーター  
庄崎隆志さん office 風の器主宰・俳優・演出家  
メイミさん 漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長
  - (4) 日時 2016年11月26日（土）～11月27日（日）
  - (5) 会場 福島市立養護学校他
  - (6) 参加者 各校に通学する生徒、交流を行っている近隣学校の生徒
  - (7) 参加費 無料
6. 振り込み金融機関

同封の「郵便払込取扱票」にて、払込をお願いします。＊通信欄の特定寄附金（ふくしまっ子キャンプ）欄にチェックをお願いいたします。尚、募金目論見書の交付等につきましては、当基金ニュースレター12月号への掲載及びホームページへの掲載にて周知いたします。

7. 受領書等の送付 振替送金確認後、領収書及びお礼状を送付いたします。
8. 結果の報告 募集期間終了後、寄付金総額等の必要事項及び、寄付金の収支に係る決算書、事業報告書を、当基金ニュースレター、ホームページへ公開いたします。

お問合せ 公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

〒105-0022 東京都港区海岸1-4-26 ゆうらいふセンター 電話 03-3434-2170 FAX 03-5401-0681

URL <http://www.niceheart.or.jp> e-mail:[info@niceheart.or.jp](mailto:info@niceheart.or.jp)

# 発達しょうがい児と家族のための ウインターキャンプ 2017

エントリー  
受付



富士山のふもとで行っている「ウインターキャンプ」は今回で7回目を迎えます。

家族のひとりひとりの立場を大切に、全員参加のプログラムにはこだわらず、障害のある子どものため、きょうだい児のため、お父さん、お母さんのため、それぞれに合ったプログラムをご用意しています。

家族の中の発見と、新たな家族との出会いにご期待下さい。

**日 程** 2017年2月18日(土)～19日(日)

**場 所** ゆうらいふ御殿場 (御殿場市水土野 259)

**参加対象** 発達障害のお子様とその家族

**定 員** 30 家族 (諸般の都合により定員を厳守いたします)

**締 切 日** 2016年11月30日(水) 必着

**旅行代金** 【バス利用】 一般 7,500 円 小学生以下 3,500 円  
【現地集合】 一般 5,000 円 小学生以下 2,500 円



※上記旅行代金は、JR浜松町駅周辺または多摩センター駅と現地までの専用貸切バス代、宿泊費、プログラム費が含まれています。

※毎回、定員以上のお申し込みをいただくため、ご参加いただくためには、抽選へのエントリーが必要となります。エントリーは、旅行の申込みを受け付けるものではありません。エントリーにあたっては、必ずFAXもしくはe-mailにて、ご家族単位で、大人と子どもの人数をお知らせください。

※ご当選された方には、改めて旅行会社より旅行の詳細、お申込み及び支払方法についてご案内し、旅行契約を交わしていただきます。あらかじめご了承ください。

○企画運営 日産労連、日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」、明星大学教育学部星山ゼミ、ナイスハート基金

○旅行企画・実施 東武トップツアーズ(株)日産労連リクトラベルサービス分室 観光庁長官登録旅行業第38号

エントリー受付 ウィンターキャンプ事務局 (ナイスハート基金内)

お問合せ TEL 03-3434-2170 FAX 03-5401-0681 e-mail info@niceheart.or.jp

ナイスハートなご支援をありがとうございました

当基金が事業を行うための運営資金として、寄付金と賛助会員の会費が重要です。より多くの方々を趣旨をご理解いただき、ご厚志を賜りますようお願い申し上げます。

■賛助会員 賛助会員会費 1口 1万円

6月から9月までの間にご厚志をいただいたみなさま (順不同/敬称略)

93,NICE HEART 8

■賛助会員

まがたま荘様、東武トップツアーズ(株)東京法人西事業部様、鈴木英仁様、佐賀市諸富町身体障害者福祉協会様、秋葉成子様。

■寄附金

(特非)日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」様、高良明枚様

